



平成 18 年 6 月 12 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ア ル プ ス 技 研
 代表者の役職名 代表取締役社長 池 松 邦 彦
 (コード番号 4641 東証第一部)
 問 合 せ 先 取締役 経営企画部長 山 崎 國 秀
 T E L 042-774-3333

中間期・通期業績予想ならびに配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 18 年 2 月 13 日の平成 17 年度通期決算発表時に公表した平成 18 年 12 月期中間（平成 18 年 1 月 1 日～平成 18 年 6 月 30 日）、平成 18 年 12 月期（平成 18 年 1 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日）の連結および個別業績ならびに配当予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 平成 18 年 12 月期中間の連結業績予想の修正（平成 18 年 1 月 1 日～平成 18 年 6 月 30 日）（金額の単位：百万円）

	売 上 高	経 常 利 益	(中間) 当期純利益
前回発表予想 (A)	10,700	720	390
今回修正予想 (B)	10,400	510	120
増減額 (B - A)	△300	△210	△270
増減率 (%)	△2.8	△29.2	△69.2
(ご参考) 前期実績（平成 17 年 12 月期中間）	9,934	570	313

【連結中間期業績予想修正の理由】

技術者派遣を主力とするアルプス技研のアウトソーシング事業は、引き続き強い技術者需要に支えられ、派遣単価の改善も進展し、売上、経常利益共に順調に推移しております。さらなる成長に備え、基礎体力である財務体質の一層の健全化を図るため、当社ならびに子会社所有固定資産の減損損失(蓼科テクノパーク他 200 百万円程度)を特別損失として計上いたします。

またこれに伴い最近の状況を踏まえて連結業績予想の見直しを行った結果、第 1 四半期における子会社収益下振れ(ソフト開発案件の不具合修正に伴う費用増など)や、「その他事業」において当初見込んでいた受注が獲得できず売上が計画を下回る見込みであることにより、中間期の連結売上、経常利益、当期純利益を修正するものです。

2. 平成 18 年 12 月期中間の個別業績予想の修正（平成 18 年 1 月 1 日～平成 18 年 6 月 30 日）（金額の単位：百万円）

	売 上 高	経 常 利 益	(中間) 当期純利益
前回発表予想 (A)	8,970	610	340
今回修正予想 (B)	8,830	610	150
増減額 (B - A)	△140	—	△190
増減率 (%)	△1.6	—	△55.9
(ご参考) 前期実績（平成 17 年 12 月期中間）	8,282	507	297

【個別中間期業績予想修正の理由】

個別の業績につきましては、売上・経常利益ともに順調に推移しておりますが、連結業績同様、財務体質の一層の健全化を図るため、特別損失に固定資産の減損損失(蓼科テクノパーク 180 百万円程度)ならびに持分法適用会社に対する株式評価減等(180 百万円程度)を計上するため、(中間) 当期純利益予想を修正するものです。なお、後者につきましては、連結業績への影響はありません。

3. 平成 18 年 12 月期の連結業績予想の修正（平成 18 年 1 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日）（金額の単位：百万円）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想（A）	22,300	1,750	950
今回修正予想（B）	21,800	1,610	740
増減額（B-A）	△500	△140	△210
増減率（%）	△2.2	△8.0	△22.1
(ご参考) 前期実績（平成 17 年 12 月期）	20,536	1,601	801

【連結通期業績予想修正の理由】

中間期同様、最近の状況などを踏まえ、下期業績の見直しを行い、修正するものです。当期純利益の修正は、中間期の特別損失によるものです。経常利益の修正幅が通期で縮小するのは、第1四半期で連結利益にマイナス要因となったソフト子会社の利益が改善することが主因です。

4. 平成 18 年 12 月期の個別業績予想の修正（平成 18 年 1 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日）（金額の単位：百万円）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想（A）	18,700	1,600	900
今回修正予想（B）	18,400	1,600	700
増減額（B-A）	△300	—	△200
増減率（%）	△1.6	—	△22.2
(ご参考) 前期実績（平成 17 年 12 月期）	17,277	1,418	684

【個別通期業績予想修正の理由】

中間期同様、最近の状況などを踏まえ、下期業績の見直しを行い、修正するものです。当期純利益の修正は、中間期の特別損失によるものです。

5. 配当予想の修正について

当期の配当予想につきましては、下記平成 18 年 2 月 13 日付「配当方針に関するお知らせ」に公表したとおりの配当方針に変更はございません。

- (1) 平成 18 年 12 月期より、連結業績に連動した配当方針とする。
- (2) 連結ベースで配当性向 50%を指標とする。
- (3) 業績にかかわらず、安定配当として、現在の発行済株式数を前提に、1 株 20 円の配当金は、基本的に維持する。

なお本業績予想の修正に基づき、平成 18 年 12 月期の 1 株当たり予想連結当期純利益は 74 円 89 銭となりますので、1 株当たり配当金は 37 円となる予想です。

	1 株当たり 中間配当金	1 株当たり 期末配当金	1 株当たり 年間配当金
前回発表予想（A）	—	48 円 00 銭	48 円 00 銭
今回修正予想（B）	—	37 円 00 銭	37 円 00 銭
増減額（B-A）	—	△11 円 00 銭	△11 円 00 銭
増減率（%）	—	△22.9	△22.9
(ご参考) 前期実績（平成 17 年 12 月期）	—	40 円 00 銭	40 円 00 銭

以 上